

# 「SAPPOROショートフェスト2006」の開催および公式ロゴマークの決定について

札幌市では、ことし9月、マーケット機能を持つものとしては全国で初めてのショートフィルムの新しい祭典「SAPPORO ショートフェスト 2006(第1回札幌国際短編映画祭)」を、実行委員会とともに開催することとし、現在、上映作品を募集しています。

このほど、かねて募集していた公式ロゴマークが決定しました。今後は、これをベースにポスター、ちらし、公式グッズを作製し、活用しながら、市民はもちろん、国内外の映像関係者が集い、都心のにぎわいが生まれるような映画祭を目指して、積極的にPRを展開していきます。

## 1 事業名

正式名称:(和名)第1回札幌国際短編映画祭

(英名)1<sup>st</sup> Sapporo International Short Film Festival and Market

通称:(和名)SAPPORO ショートフェスト 2006

(英名)SAPPORO Short Fest 2006

## 2 主催

札幌ショートフェスト実行委員会(名誉委員長・札幌市長)・札幌市

## 3 開催概要

### (1) 期間

平成18年9月6日(水)～9月10日(日)

### (2) 会場

東宝プラザ(狸小路5丁目)ほか市内中心部

### (3) 内容

- ・ ショーケース(ショートフィルムの上映。約70本～100本を予定)
- ・ マーケット(作品および作品に係る権利関係等の売買契約の場)
- ・ ワークショップ(子どもによる映像制作ワークショップなどを予定)
- ・ コンペティション(ショートフィルムを募集し、優秀作品に賞を授与)

### (4) 経緯

短編映画の分野は、海外の映画祭で賞を受ける監督が札幌から輩出されるまでになったほか、昨年まで札幌ショートショート実行委員会の主催により市内で開催されていた短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル in 北海道」(SSFF)も東京会場の観客動員数を超えるなど活況を呈し、新たな産業分野の1つとして、その将来性が大いに期待されるものである。

本市では、短編映画の産業化を推進するため、平成17年7月に開催されたSSFFにおいて、映画祭に向けたイベントとして、海外の若手フィルムメーカー、映画関係者を招へいし、市民向け、フィルムメーカー向けのフォーラムを実施した。

平成18年度は、札幌市独自の新たな短編映画祭を開催することとし、フィルムメーカーに焦点を当て、その作品や作品に付随する権利関係が取引されるようなマーケット機能を新しく設けることで、単なる興行にとどまらず、本市が映画産業の中心地となるような映画祭を目指す。

## 4 作品の募集について

### (1) 作品概要

#### 【作品部門】

- ・ ショートフィルム作品 1 本単位で応募
- ・ 長さ：30 分以内（クレジット含む）
- ・ 完成年：平成 16 年 1 月 1 日以降

#### 【フィルムメーカー部門】

- ・ 自作の複数のショートフィルムを集めて 1 つのプログラムに編集して応募
- ・ 作品数：3 本以上
- ・ プログラムの長さ：45 分以内
- ・ 完成年：規定なし

### (2) 募集期間

平成 18 年 1 月 23 日～3 月 31 日（当日消印有効）

### (3) 応募方法

SAPPORO ショートフェスト 2006 公式サイト（<http://www.sapporoshortfest.jp>）の  
エントリーフォームから応募

## 5 公式ロゴマークについて

### (1) 選定ロゴマーク

F u t a b a（札幌市内在住の福田 <sup>ひろとし</sup> 大年さんと児玉美也子さんによるデザインユニット）の作品に決定した。

作品は、ショートフィルムをイメージしたフィルムの断片に、帽子をかぶったキャラクターが乗っているデザイン。フィルムの断片は、世界を縦横無尽に飛び回る空飛ぶ魔法のじゅうたんを表している。キャラクターは、フィルムメーカーや役者などショートフィルムにかかわる人を、また、キャラクターの影は、スクリーンに映し出されるイメージを表している。

### (2) 選定方法

平成 17 年 12 月 22 日から平成 18 年 1 月 31 日まで募集し、全国から寄せられた 121 件の作品の中から、平成 18 年 2 月 14 日の審査会で決定した。

#### ショートフィルム（短編映画）

長くて 30 分、短いものはわずか 1 分の「ショートフィルム」は、日本では「短編映画」と訳されるが、映像文化の先進国・アメリカやショートフィルムの歴史が長いヨーロッパでは、通常の映画とは区別され、映像表現のジャンルとして確立している。その例として、映画界の最高賞であるアカデミー賞をはじめ、海外のほとんどの映画祭に『ショートフィルム部門』が設けられている。短い時間に監督やクリエイターのメッセージが凝縮され、長編映画と違った魅力と可能性に満ちあふれている。実写によるストーリーもののほか、アニメーション、ドキュメンタリー、コンピューターグラフィックスなど、表現方法は多彩で、通常の映画にはない強いメッセージが伝わってくるのが特徴。

#### ショートショート フィルムフェスティバル

本格的な短編映画を特集する映画祭としては日本で初めてのものであり、平成 16 年、アカデミー賞公認の映画祭として認定を受け、世界につながる映画祭となった。全国 7 都市、8 会場に広がり、北海道（札幌）では平成 12 年から 6 回開催され、昨年は東京会場を上回る約 5,100 人の観客を動員した。

#### 問い合わせ先

札幌ショートフェスト実行委員会	<sup>はつせがわ</sup> 初瀬川、久保	電話 8 1 7 - 8 9 2 4
経済局産業振興部産業企画課	一橋、田中	電話 2 1 1 - 2 3 7 2